

みて!よんで!しゅっ

ぎかいのひろば



笑顔つなぎ、地域活かす!
シルバーの絆

トピック

★働く喜び、つながる笑顔!

突撃インタビュー・
志賀町シルバー人材センター … P2・3

★議員が選んだ「私の焦点」

令和8年度当初予算 … P6・7

★町政を問う!

一般質問・5氏が登壇 … P12~17

★選挙についてどう思う?

聞かせてください あなたの声
~志賀高校生編~ … P18~19



「シルバー人材センター」をご存知ですか？

健康で、働く意欲のある高齢者が、
長年培った経験や能力を地域のために活かし、
いきいきと社会参加できる場所、それがシルバー人材センターです。
ここでは、仕事を通じて人生をさらに豊かにする高齢者と、彼らの力を
借りて地域や家庭の活力を生み出すことを目指しています。

今回は、シルバー人材センターがどんな活動をしているのか、
どんなお仕事を頼めるのか、そして何よりも、そこで働く方々がどんな
思いで日々を過ごしているのかを、突撃インタビューで深掘りします。

突撃 インタビュー

働く喜び、
つながる笑顔

シルバー人材センターの力



1 シルバー人材センターについて教えてください。

健康で働く意欲のある高齢者が、豊かな経験や能力を生かして仕事をして、いきいきとした人生を築けるようにすること、地域の高齢者が仕事を通じて積極的に社会参加し、家庭や地域の活力を生み出すことを目指しています。

2 主な活動内容や提供しているサービスは？

施設の受付や屋内外の清掃、草刈り・剪定など多岐にわたり、家庭・民間企業・公共機関等から高齢者に適した軽易な仕事を引き受け、それを希望と能力に応じて会員に提供しています。

3 どのような方が会員として登録されていますか？

60歳以上の健康で働く意欲のある方のほか、仲間づくりを目的とした方もおいで、中には90歳代の会員さんもいます。

【会員数】 男性 121人
女性 80人

【平均年齢】 男性 74・6歳
女性 74・5歳

令和8年3月31日現在

趣味と生きがいを
感じられるセンターに

4 志賀町での活動状況や特徴を教えてください。

今までは草刈りや施設管理などの業務が多かったのですが、技術向上を目指した講習会を開催するほか、女性会員を対象とした教室等を開催することで、多くの会員さんが喜んで参加されています。
今後は販売を目的とした独自事業にも力を入れ、趣味と生きがいを感じられるセンターにしていきたいと考えています。

シルバー人材センターの利用を検討されている方へ

Q シルバー人材センターを利用したい場合、どうすればいいですか。

A まずは、シルバー人材センター事務局へご連絡ください。依頼内容を確認し、作業できる会員を探します。有料になりますが、見積りすることも可能です。

Q どのような作業の依頼が多いですか。

お問合せ先 ☎ 0767-42-2170

笑顔をつなぎ 地域を活かすお手伝いを



山崎 勲さん
(東増穂地区)

シルバー人材センターから依頼されて、門前の企業で勤務しています。ほかに、3人ぐらいで、草刈りや防草シートを張るなどの仕事も請け負っています。

山本万智子さん
(東増穂地区)



高齢者支援でクラフト教室をしています。現在、約10名の方が参加されて、創作活動を楽しんでいます。参加者の皆さんが作品に熱心に取り組む姿や、完成した時の喜びにあふれる笑顔が、何より私の生きがいとなっています。



松下美枝子さん
(西増穂地区)

とぎ地域福祉センターで、施設の掃除と来訪者の接客をしています。施設では週1回、さまざまな教室も開催されているので、次は私も新しい習い事に挑戦してみたいです。



森 外茂子さん
(西海地区)

役場本庁舎の談話室で、来庁された方の接客を行っています。自分の都合や生活に合わせた働き方ができるため、楽しく仕事ができます。

シルバー人材センターから

センターは働くだけでなく、研修旅行や健康教室などの活動も実施しており、仲間づくりや健康維持にも重点を置いています。

今後は、それぞれの趣味から始まる活動の輪を拡げ、楽しめる組織づくりを目指していきますので、皆様の入会をお待ちしております。

「突撃インタビュー」を終えて...

この度、シルバー人材センターを取材し、その魅力と活力を実感しました。

会員の皆様が「自分のペースで楽しく働ける」と語る姿は印象的で、仕事を通じて得られる「生きがいや仲間との交流」が、皆様の原動力となっています。

センターは若年層の入会者減少という課題を抱えつつも「新たな取り組み」を通じて、会員の「やりがい」と「楽しみ」を追求されています。地域に活力を生み出す、その魅力が伝わりました。

(議会広報特別委員会)

- A** 除草作業(草刈り・草むしり)、剪定、屋内外の清掃、簡単な農作業などが多いです。
- Q** 「こんな依頼もお受けできます」というものはありますか。
- A** マイクロバスの運転や建物の管理、防草シート張り、ゴミの片付け処分も行っています。
- Q** 町民の方にお伝えしたいことはありますか。
- A** 困ったことがあれば、まずは相談してください。60代から90代の皆さんが加入していますので、依頼された作業ができる会員を探します。

令和8年度 当初予算



稲岡 健太郎 町長

「持続可能なまちづくりに
全力を尽くす」

「創造的復興」を加速 未来への礎を築く年に

一般会計当初予算額は
246億円

令和8年度の一般会計総額は246億円で、前年度から36.3パーセントの減となりました。これは、主に公費解体の完了によるもので、震災前の令和5年度と比較しても2倍に及ぶ大規模な編成となっています。

町長は提案理由説明で、「町の再生を確かなものにするため、『生活の基盤と未来への布石を確立する『礎を築く年』』と位置付けた。単なる復興に留まることなく、人口減少という厳しい現実から目を逸らさず、皆様の大切な家族が、そして未来を担う子どもたちが「志賀町に住み続けたい」と心から思える町を創るための、未来志向の予算として編成した」と述べました。

3月定例会は、3月3日から同月19日までの17日間の会期で開かれました。

町提出案件は42件で、令和7年度の各会計の補正予算をはじめ、条例の制定や一部変更及び改廃、令和8年度の各会計の当初予算の議案などを審査し、すべて原案のとおり可決しました。

(※議決結果はP10・11参照)



提案理由説明動画は
コチラから

《令和8年度 新規・拡充施策》

新生児1人につき30万円の
応援金を給付
(ウェルカムベビー応援金交付事業)

1200万円



志賀町ファンクラブ(仮)を創設
(関係人口創出事業) 238万円



ふるさと教育推進事業 159万円

ふるさとの豊かな風土・歴史・文化などの教育資源を活用した教育活動を進め、ふるさとを愛する学習を展開する。



飼い主のいない猫の不妊去勢手術事業 50万円

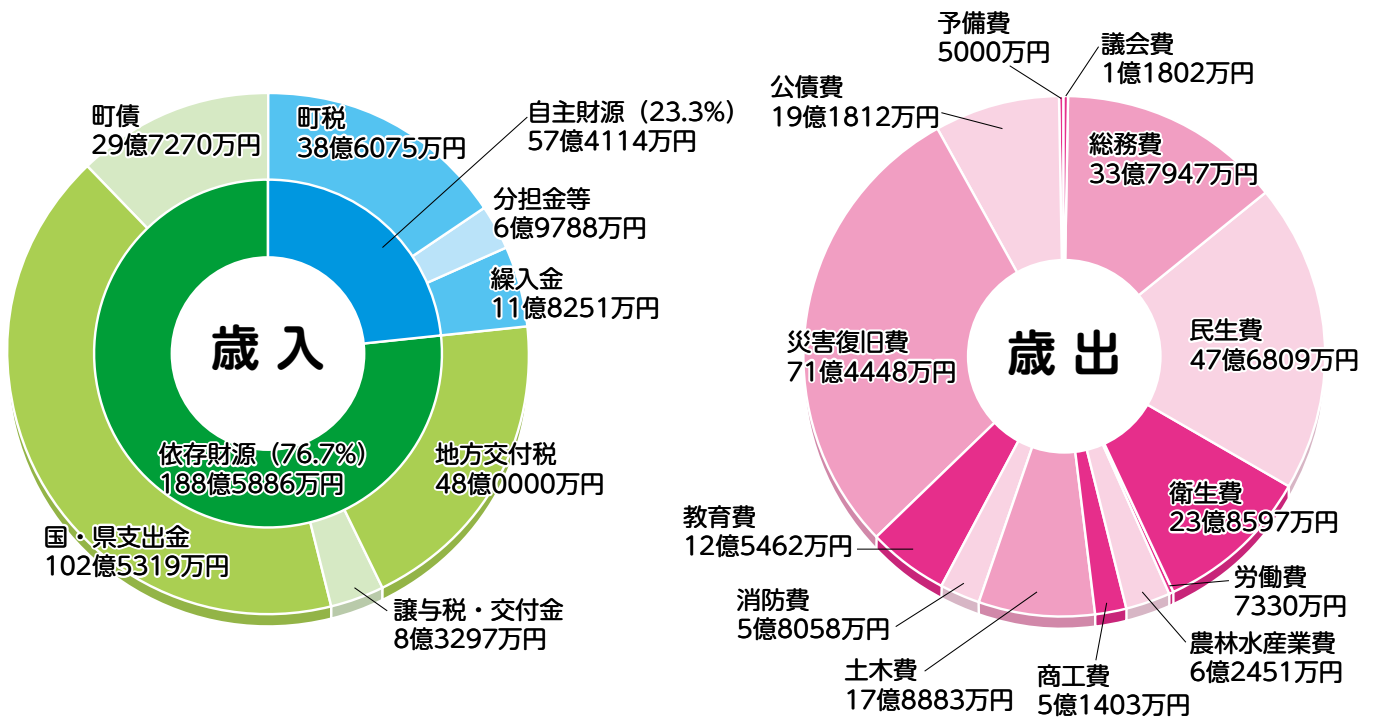
飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に要する経費の一部を助成する。

乳児等通園支援事業 260万円

0歳6か月から満3歳未満児の通園に対する給付金



一般会計 246億円の内訳



自主財源

町で集めたお金 (町税など)

依存財源

国や県の基準に基づき、交付されたり割り当てられたりするお金

総務費

避難拠点施設整備、情報管理

衛生費

保健衛生、清掃・環境衛生

民生費

社会福祉・子育て支援

【各会計予算額】

区分		令和8年度	令和7年度	伸び率	
一般会計		246億円	386億円	△36.3%	
特別会計	国民健康保険	21億8812万円	25億3103万円	△13.5%	
	後期高齢者医療	5億4969万円	4億6711万円	17.7%	
	介護保険	31億6714万円	31億3415万円	1.1%	
	診療所	1億9716万円	1億9524万円	1.0%	
企業会計	水道	収益的支出	6億572万円	6億634万円	△0.1%
		資本的支出	22億8262万円	18億9521万円	20.4%
	下水道	収益的支出	11億5171万円	11億4450万円	0.6%
		資本的支出	37億1191万円	38億4422万円	△3.4%
	病院	収益的支出	15億6113万円	15億497万円	3.7%
		資本的支出	3億1620万円	2億9035万円	8.9%
合計		403億3140万円	542億1312万円	△25.6%	

私たちの税金、 どう使われるのか？

今年の一般会計は、過去最高だった令和7年度を下回りましたが、過去3番目に大きい予算規模となりました。

未曾有の震災から「**シン・志賀町**」へ。

12名の議員が、膨大な事業の中から「これは見逃せない」という一つを厳選。期待を込めた「**推し**」の視点から、財政を憂う「**厳しい**」視点まで。

12通りの言葉から、志賀町の明日を一緒に考えてみませんか。

新年度注目予算！

議員が選んだ

フォーカス

「私の焦点」

産業・雇用

工場用地・

産業団地整備事業

新たな工業団地・
産業団地の
整備計画構想に係る経費

予算額
1100万円

未来投資事業に
期待

小林 克嘉 議員



本事業は、新たな工業団地および産業団地の整備計画構想に係る経費であり、町長および副町長が主導して推進する、志賀町独自の未来投資事業である。

町長・副町長がタッグを組んだ新事業の今後の展開に期待します。

メリット・
デメリットを示せ

福田 晃悦 議員



町内企業での慢性的な人手不足を解消せずに「新たな工業団地・産業団地の整備計画」に取り掛かるという矛盾に疑問が残る。

仮に人手を必要としない企業を誘致するのであれば、そのメリット・デメリットを示すべき。

実現化に向け、
大いに期待

越後 敏明 議員



町の活性化につながる新たな産業団地整備構想の事業ですので、実現化に向け、大いに期待し、注目しています。

なりわい再建支援 補助金交付事業

町内事業者の
事業再建支援に対する
補助金
県補助金の額の9分の1
(上限500万円)

予算額
2000万円

当分続けて

中谷 松助 議員



県補助金に上乘せした、町独自の支援補助金に大いに期待する。
当分続けてほしいです。

子育て・教育

富来義務教育学校 整備事業

富来義務教育学校
整備に係る経費

予算額
1億
3576万円

・基本設計・実施設計業務委託料
・土地購入費

子どもをまんやかに
持続可能な
まちづくりを

梢 正美 議員



児童数減少が進む中、義務教育学校と避難拠点整備は、施設整備にとどまらず、教育・防災・地域が一体となり、子どもをまんやかに持続可能なまちづくりにつなげる視点が重要です。

共同作業で特色ある
学校を目指せ

富澤 軒康 議員



富来地域の次世代を担う子ども達の安心で快適な教育環境を確保すると共に、その環境のもとで素晴らしい学びと互いの絆を育む学校を目指し、地域密着型の、児童・生徒数に見合った適正規模の小中一貫義務教育学校を、町当局・議会・地域住民・保護者と共同作業で特色ある学校を目指さなければならぬ。



観光・交流

道の駅とぎ海街道周辺 再整備事業

道の駅とぎ海街道
周辺の施設を
再整備するための
基本計画策定に係る経費

予算額
850万円

相乗効果に期待

南 正紀議員



震災の被害著しい富来地域活性化の
要の事業。
義務教育学校の整備と合わせ賑わい
を創出し、交流人口・関係人口を創出。
結果として、志賀地域での宿泊、消
費等の相乗効果に期待。

予算が 少なすぎないか

寺井 強議員



合併後、志賀地域には、原子力発電
所、工業団地と工業を推進し、富来地
域には観光と仕分ける中、急激な高齢
化が進むこの地域の復興を機に一気に
進めなければ、交流人口、関係人口が
集まらない。
予算が少なすぎたのでは。

震災復興

災害復旧・復興に 関わるすべての予算

復興関連
予算総額
28億
9957万円

復旧費
予算総額
71億
4448万円

被災者の生業・ 生活を取り戻せ

堂下 健一議員



今回の地震からの復旧作業を1日でも
早く終えたいことが被災者の生
業・生活等を取り戻していくことにつ
ながる。
各予算の順序がつけがたいので、す
べての復興予算としました。

安心して 生活できるよう 早急に復旧を

櫻井 俊一議員



令和6年に発生した能登半島地震の
震災復興に向けたインフラ整備や生活
支援、産業、観光などが最優先であり
ますが、特に災害住宅再建や公共施設
道路、水道などが整備され、安心して
生活できるように、早急に復旧を求め
る。

行政運営

DX推進事業

窓口DXシステム化
により、住民サービスの
向上と業務の効率化、
さらにコスト削減を
図るための経費

予算額
8822万円

今日的な取組である

林 一夫議員



今日的な取り組みであろうと思います。
システムの導入の結果、住民サービ
スの向上と業務の効率化を図るものと
されており、成果に期待しています。

生活環境

コミュニティバス運行事業

AIデマンド予約制
乗合交通
「しかばすいーじー」の
運行に係る経費

予算額
8270万円

高齢者への配慮が必要

表谷 茂浩議員



時刻表のとおりに行っていた「しか
ばす」に戻してほしい。
高齢者がタクシーを利用しているの
を見かける。
高齢者の気持ちも考えていただけた
らありがたい。



総務産業建設 常任委員会

役場内部事務や
地場産業にかかる
分野を審査します。

組織の再編・配置を聞く

質疑

新たな課の新設にあたり、配置場所はどこになるのか。

答弁

「危機対策課」を新設し、現行の「環境安全課」は「生活環境課」とする。

危機対策課は管理部門として、現在の環境安全課の場所(3階)を使用する。
生活環境課は民生部門となり、2階へ移る。

質疑

人員は増えるのか。

答弁

現状8名の職員で構成されているが、新たに2つの課を設置することで、それぞれの課に管理職の配置が必要となる。このため、全体としては現在の職員数よりも増員することになる。

とぎ実験農場の震災被害への対応と今後の施設運営

質疑

震災によるインフラ被害の現状と施設廃止に伴う補助金返還の影響は。

答弁

水道・電気は現在停止している。施設を完全に廃止すれば補助金返還が生じる可能性があるため、国・県と協議の上、有効活用について慎重に検討する。

質疑

過去の業者撤退を教訓に、契約期間の設定や地元意向の反映など、選定を慎重に行うべきではないか。

答弁

同じ失敗を繰り返さぬよう、選定は十分に吟味する。行政主導ではなく、地域が愛着を持って盛り上げられる体制を模索したい。議会の知恵も借りながら、最適な形を検討していく。



震災で停止の施設。地域が愛着を持てる新たな運営体制へ。

教育民生 常任委員会

教育や住民の暮らしにかかる分野を審査します。

新たな子育て支援を聞く

質疑

特定乳児等通園支援事業の概要を聞く。

答弁

国が令和8年度から新たに開始する支援制度で、保護者の就労有無に関わらず、リフレキシユ目的での定期的な利用が可能となる点が特徴である。

在宅家庭と保育現場を繋ぐ新しい仕組みとなる。

質疑

保育園に入所していなくても、自由に預けられるというところが。

答弁

そうである。
月10時間以内で、生後6か月から3歳未満の未就園児が対象となる。

コンビニ交付状況を聞く

質疑

コンビニ交付の利用実績を聞く。

答弁

利便性が浸透しており、令和6年度実績では、全証明書の約26パーセント、対象証明書に限れば、30パーセント以上がコンビニ交付となっている。
今後普及を促進するため、交付手数料の値下げを実施する。

質疑

コンビニ交付が進むことで窓口職員数を減らす計画はあるのか。

答弁

現時点で即座に人員削減を行う予定はないが、将来的な職員減少を見据え、少ない人数でも業務を維持できるよう、コンビニ交付の利用を促したい。
これにより、他の窓口サービスを向上させたい。



討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

賛成



反対

議案に
対する
討論

反対

議案第 32 号 令和8年度一般会計予算

賛成



中谷 松助 議員

容認しがたい施策がある
来年度予算案には復旧・復興関連の重要施策が含まれる一方、事実上の原発推進団体への補助金や過度な競争を促す学力テスト委託料が含まれている。
持続可能な社会のためには大規模発電からの脱却と、競争を強いる教育環境の見直しが必要不可欠で、容認しがたい施策も入っている本予算案には反対。

加速を目指す重要な予算
令和8年度一般会計予算は、震災前の2倍の規模となる246億円で編成されており、復旧・復興の加速を目指す重要な予算として支持する。
原発関連の経済減退や将来の財政負担を考慮し、国・県との連携による財源確保と、学校整備や防災対策における客観的かつ均衡のとれた事業推進を求めるとともに、新しい志賀町をつくるべく、鋭意取り組むことを期待する。



林 一夫 議員

反対

請願第 1 号 貴議会として、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を求める請願書

賛成



南 正紀 議員

批准することは慎重であるべき
核兵器禁止条約は発効されたが、核保有国は核戦力を安全保障の中核に据えており、核兵器の廃絶は遠い。日本は米国の核の傘で安全保障を保っており、条約批准は現状の安全保障政策と矛盾する。
核保有国との対立を避け、現実的な安全保障維持のため、我が国が批准することは慎重であるべきで、本請願には賛同しかねる。

核兵器禁止条約に参加を求めよ
世界各地で武力攻撃が繰り返される中、日本政府はしっかり規範を示し、屈してはならず、外交による解決を主導すべき。
非核宣言の本町議会からも、日本政府に核兵器禁止条約に参加するよう求めたいのではないか。



中谷 松助 議員

反対

不安な制度になるばかり

中谷 松助 議員

議案第34号 令和8年度後期高齢者医療特別会計予算
県の基準に基づき、保険料の引上げを行うというものだが、医療とは無関係の子ども・子育て支援の財源を高齢者からも徴収するのは道理がなく、不安な制度になるばかりだ。
財源は、大企業や富裕層に対して厳格な課税を行い、国庫負担を増やして、負担を引き下げるべき。

反対

財源を確保して、税額を抑えよ

中谷 松助 議員

本町ではこれまで被保険者の負担を考え、極力税額を抑えてきた。
今回の引き上げは、県の定める高い税額への段階的移行と、医療とは別の子ども・子育て支援財源を国保税からも確保しようとするもの。
まずは財源を確保して、税額を抑えていただきたい。

反対

新たな条例制定は不要

中谷 松助 議員

議案第10号 特定乳児等通年支援事業の運営に関する基準を定める条例
本町では一時預かり事業として二一ズに対応しており、保護者からも好評である。
将来的な二一ズには、持続可能で責任ある公的保育の拡充で対応すべき。

3月定例会

議決結果

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
議案 30	とぎ実験農場の指定管理者の指定の期間の変更…株式会社スギヨファームの指定期間を4年短縮し、本年3月31日までとするもの。…8ページ参照	可決 賛11 反0
議案 31	過疎地域持続的発展計画の変更…過疎地域の持続的な発展のための施策を推進するため、過疎地域持続的発展計画(令和8年度～令和12年度)に変更。	可決 賛11 反0
議案 32	令和8年度一般会計予算…4～8ページ参照	可決 賛10 反1
議案 33	令和8年度国民健康保険特別会計予算…5ページ参照	可決 賛10 反1
議案 34	令和8年度後期高齢者医療保険特別会計予算…5ページ参照	可決 賛10 反1
議案 35～39	令和8年度介護保険特別会計予算～令和8年度町立富来病院事業会計予算…5ページ参照	可決 賛11 反0
議案 40	工事請負契約の締結「とぎ保育園災害復旧工事」…災害復旧工事を行うにあたり、寺井建設株式会社 代表取締役 寺井誠 と5555万円で締結。	可決 賛11 反0
議案 41	「専決処分の承認について(工事請負契約の締結)」の議決の一部変更(富来B&G海洋センター震災復旧工事)…災害復旧工事請負契約額の変更。	可決 賛11 反0
議案 42	財産の取得「買取型復興公営住宅整備事業用地 富来地域その2」…買取型復興公営住宅を整備するための事業用地を取得。 所在地：富来領家町甲6番1 外1筆 地目及び地籍：宅地、山林 7593.88㎡ 取得金額：4830万円 取得の相手方：富来領家町区	可決 賛11 反0
議案 43	第3次総合計画基本構想の策定…第3次総合計画基本構想の策定について、議会の議決を求めるもの。	可決 賛11 反0
請願 1	貴議会として、日本政府に核兵器禁止条約への参加を求める意見書の提出を求める請願書…日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に調印・批准することを求める。	不採択 賛2 反9

＜賛否が分かれた議案＞ ○は賛成、×は反対 (議長は採決に加わりません)

採決の動画は
こちらから



議案番号	小林	梢	表谷	中谷	福田	南	寺井	堂下	越後	富澤	櫻井	林
議案第3号	○	○	○	○	—	×	×	○	○	○	×	○
議案第10号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	×	×	×	○	—	×	×	○	×	×	×	×

1 回 臨時 会



臨時会映像は
コチラから

議 決 結 果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
議案 1	令和7年度一般会計補正予算(第8号) … 歳入では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、水道基本料金無償化特別交付金を増額。歳出では、災害公営住宅整備に係る用地取得費、物価高騰対策事業費を増額。 補正額：4億4222万円 予算額：544億1903万円	可決 賛11 反0
議案 2	令和7年度水道事業会計補正予算(第3号) … 物価高対策による水道基本料金を無償化(2か月分)するため、水道料金の減額とあわせて減収補填分として他会計補助金を増額。	可決 賛11 反0

3 月 定 例 会

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
承認 1	令和7年度一般会計補正予算(第9号) … 衆議院議員総選挙・最高裁判所「裁判官国民審査の実施にかかる所要額を補正し、専決処分。 補正額：1780万円 歳入歳出予算額：544億3683万円	承認 賛11 反0
議案 3	令和7年度一般会計補正予算(第10号) … 歳入では、町税・地方交付税・災害等廃棄物処理に係る国庫補助金・町債の増額、歳出では、災害等廃棄物処理に係る経費、住まい再建支援金を増額、各事業の精算見込みによる事業費の減額 補正額：15億5155万円 歳入歳出予算額：559億8838万円	可決 賛8 反3
議案 4～9	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)～令和7年度町立富来病院事業会計補正予算(第2号)	可決 賛11 反0
議案 10	特定乳児等等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例 … 児童福祉法の改正に伴い創設された特定乳児等等通園支援事業の運営に関する基準を定めるため、新たに条例を制定。	可決 賛10 反1
議案 11	課制条例等の一部を改正する条例 … 「危機対策課」を新設し、「環境安全課」を「生活環境課」に名称変更する。… 8ページ参照	可決 賛11 反0
議案 12～14	行政手続条例の一部を改正する条例～一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 … 所要の改正	可決 賛11 反0
議案 15	手数料条例の一部を改正する条例 … コンビニ交付による証明書交付手数料を減額するため、所要の改正。	可決 賛11 反0
議案 16	国民健康保険税条例の一部を改正する条例 … 課税項目に「子ども・子育て支援納付金課税額」を新設。国民健康保険の財政健全化及び税負担の適正化を図るため、所得割率等の見直しを行う。	可決 賛10 反1
議案 17～19	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例～能登リゾートエリア増穂浦条例を廃止する条例 … 所要の改正	可決 賛11 反0
議案 23～29	指定管理者の指定 … 引き続き、5年間指定する。(指定期間:令和8年4月1日から令和13年3月31日まで) 地域コミュニティセンター(西浦コミュニティセンター): 鹿頭区 とぎ地域福祉センター: 公益社団法人志賀町シルバー人材センター シルバーハウス: 公益社団法人志賀町シルバー人材センター 地域休養施設(やすらぎ荘): 公益社団法人志賀町シルバー人材センター 地域生活改善センター(酒見構造改善センター): 酒見区 赤住漁港公園: 赤住区 能登中核工業団地コミュニティ施設: 公益社団法人志賀町シルバー人材センター	可決 賛11 反0



南 正紀



堂下 健一



小林 克嘉



中谷 松助



梢 正美

5氏が登壇 町政を問う!

一般質問とは

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することをいいます。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

PAGE
13

南 正紀 議員

- 1 ふるさと納税について
- 2 町長評価制度について
- 3 志賀町役場の職場環境について

PAGE
14

堂下 健一 議員

- 1 農業問題について
- 2 浜岡原発の基準地震動データ不正問題について
- 3 福島第一原発事故から15年、被災地の現状認識を問う

PAGE
15

小林 克嘉 議員

- 1 しかばす いーじーについて
- 2 義務教育学校について
- 3 障がい者福祉について

PAGE
16

中谷 松助 議員

- 1 志賀原子力発電所の廃炉を求めよ
- 2 国民年金で暮らせる復興住宅家賃を
- 3 補聴器購入費助成制度の創設を
- 4 保育園完全給食への見通しを聞く
- 5 末吉地内ホームセンター前道路のり面の雑木等、伐採を求めよ

PAGE
17

梢 正美 議員

- 1 富来地域の大规模投資と創造的復興の方向性について
- 2 復興公営住宅における親族の一時滞在を想定した制度設計について
- 3 創造的復興と人口減少対策における若者・女性施策の具体化について

一般質問を終えての議員の感想です。





みなみ 南 まさのり 正紀 議員

議員の
ひとこと
志賀町役場、魅力的な職場環境が広く伝わり、多様な人材が集まってほしいですね。

町長評価制度 速やかな実施を求める

実施時期を慎重に見極める

町長



動画はコチラから

南

町長は「町長評価制度」を公約に掲げ、「町民による町長評価制度を新設し、自身自身を律する」と述べている。

令和6年第2回定例会一般質問の答弁では、就任1年から2年をめどに実施したい旨述べられた。

すでに実施の準備は整っていると考えるが、その内容を聞く。

町長

「復興計画の達成度」や「財政健全化」といった客観的な評価指標の策定を進めているが、現時点での実施は、「時期を慎重に見極めるべき」との結論に至った。

「創造的復興」へ進んだ段階で、経営責任への審判を仰ぎたい。

ふるさと納税、早急な取組みを

「地域商社」設立で販路拡大 町長



魅力あふれる志賀町の特産品のアピールを

南

奥能登におけるふるさと納税寄付額が、前年比7割減となったと報じられた。

本町においても57・7パーセント減の1億4千万円余りとなり、主たる原因は、「震災復旧支援により急増したものが支援意識の薄れにより減じた」とされる。

復興をイメージさせる返礼品の設定など、早急な取組みを求める。

町長

地場産品の企画開発や品質向上、情報発信を一体的に担う「地域商社」の設立を進め、特産品の魅力向上と販路拡大を図る。

特産品をふるさと納税の返礼品として活用し、移住定住や子育て支援、産業振興などの施策に効果的に活用することで、地域価値の向上と地域経済の好循環を生み出す。

被災事業者の再建応援の観点から、農林水産物の定期便や詰め合わせセットの造成、復旧した観光施設の宿泊券や体験型返礼品の拡充などに取組む。

その他の質問

南

本庁ではパワハラの実態調査、発生防止策を講じているのか。

総務課長

実態調査は実施していないが、「町職員のハラスメント防止等に関する要綱」に基づき、相談体制を整えている。

有機栽培への転換を進めよ

段階的に進める

農林水産課長



どうした けんいち 議員

議員の
ひとこと

50年前購入した著作「有機農業」
「複合汚染」。
「農薬汚染」と「ミネズの果たす役割」
動く肥料工場」と学ぶ。

堂下

世界的に有機農業が推進される中、当町の農業をめぐる環境は、世界農業遺産、コウノトリの飛来、富米地区での実績、「トキの生息環境に配慮した米づくり研修会」の開催がある。

国の財政支援を受けながら取り組めるオーガニックビレッジ宣言を活用すべきと考えるが、町の考えを聞く。

農林水産課長

国は、有機農業を推進し、経済的支援や販路拡大、技術支援、地域ぐるみで取組むオーガニックビレッジの産地づくり推進事業を進めている。現時点でオーガニックビレッジの宣言は予定していないが、農業者の意見を尊重しながら、有機農業の導入に向けた啓発を図り、地域と農業者の機運を醸成していく。持続可能な農業の実現を目指し、慣行栽培から特別栽培へ、段階的に転換を進めていく。

オーガニックビレッジ

有機農業の生産から消費までを一貫して地域ぐるみで行う市町村のこと



動画はコチラから



46都道府県154市町村で取組が開始されている
(令和7年12月現在・農林水産省HPから)

浜岡原発データ不正問題の受け止めを聞く

透明性を持った情報提供を要請する

環境安全課長

堂下

中部電力浜岡原発の地震動データ操作問題で、意図的に数値を低く算出した「捏造」が発覚した。

規制委員会委員長は「原子力安全を破壊するもの」と厳しく批判したが、内部告発がなければ審査を通過していたこともありえる。

原発立地自治体として、今回の中部電力、規制委員会の対応をどのように注視しているのかを聞く。

環境安全課長

中部電力浜岡原子力発電所での基準地震動のデータ改ざんといった不適切な事案が明らかになった。

この行為は、信頼を裏切るものであり、誠に遺憾である。

町では、北陸電力に対し、データ管理体制や監視体制の強化、関係者に対する教育・研修の充実を求め、地域住民にも透明性を持った情報提供を行うよう要請している。

その他の質問

堂下

福島第一原発事故から15年、被災地の現状をどのように注視しているのか。

町長

原子力災害が一度発生すれば、その影響が15年を経てもなお続くという厳しい現実を、改めて突きつけるものと受け止めている。

福島の状況は決して他人ごとではなく、常に最悪の事態を想定し、住民の生命と財産を守ることを最優先に、原子力防災に全力で取り組む必要があると強く認識している。



こばやし かつよし 議員
小林 克嘉

障がい者の生活支援充実を

障害福祉計画の見直しを図る 健康福祉課長

小林 第3次総合計画の「障害者への生活支援の充実」を掲げているものの、現場の声や実態の分析、必要とされている支援が十分に反映されているとは言い難い。

相談員不足、家庭負担の増大、町内施設の不足といった課題は、計画策定の段階から丁寧な分析し、施策へ反映させる必要があるのではないかと

議員のひとこと
しっかりと町民に寄り添い、今後も改善に努めます。しかばすいーじーは今後快適に改善されていきそうなので安心してました。

健康福祉課長 第3次総合計画の指針に基づき、障害者の生活支援の充実を図るため、その具体化に向け、令和8年度に策定予定の、第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画において分析を行い必要なサービス量や支援機能の見直しを行う。

また既存の障害者施設等を中核的拠点として、機能を一層高めるための支援策を検討し、事業者や県、関係機関と連携しながら、地域の環境整備を推進する。



動画はコチラから

「しかばす いーじー」改善点の検証が必要

乗合率の向上を図る 企画財政課長

小林 「しかばす いーじー」は利便性・効率性・利用者数など、どの点が改善され、どのような効果があったと評価しているのか。

課題と成果を踏まえ、「しかばす いーじー」をより使いやすくするための今後の方針を聞く。

企画財政課長

乗車時間の短縮、志賀・富来地域間の相互移動、町内バス停間の乗り換えなし移動、西山パークキングへの直行が可能となるなど、利便性が向上している。

バスの小型化や台数の削減により運行経費を約2割削減し、予約に基づく運行形態により、効率的な運行を実現している。

今後も引き続き、乗合率の向上とスムーズな電話予約の受付体制の整備を進め丁寧で分かりやすい広報活動で、さらなる利用促進を図る。



「しかばす いーじー」に乗車してみませんか

その他の質問

小林 義務教育学校整備での会議や住民説明会のため、より明確なテーマや目標を掲示し、方向性を示す必要があるのではないかと

教育長

町としての方向性をわかりやすく示し、限られた期間でも論点を整理しながら、教育ビジョンへの反映を着実に進めていく。

志賀原子力発電所の廃炉を求めよ

審査会合の動向を注視

環境安全課長



なかにまつすけ 議員
中谷 松助

議員の
ひとこと
まっとうな要求は皆で
声をあげれば必ず実現す
ると思います。

中谷



動画はコチラから

今年はいよいよ連年のチェルノブイリ原発事故から40年、東京電力福島第1原発事故から15年経過するが、原発事故は終わりがない。

国土地理院から志賀原発敷地には活断層と考えられる推定活断層があると指摘されている。

日本の原発は海岸沿いであり、地震や津波で冷却水が絶たれた場合、たちまち過酷事故につながる。

安全な道をとるため、志賀原発の即刻廃炉を求めて頂きたい。

環境安全課長

福島原発事故の避難者状況を踏まえ、決して他人ごとではなく、住民の生命財産を守るため、防災計画を充実し意識向上に努める。

国土地理院による志賀原発の活断層指摘については、今後の審査会合の動向を注視していく。

保育園給食の完全無償化への見通しを聞く

完全給食の実施を予定

町長

中谷

保育園の完全給食は、調理スペースや人員の確保、費用負担の観点から導入は困難だが、引き続き、議論、検討したいとの答弁があった。

国が公立小学校への給食支援を進める動きがある中、保育園完全給食化の、現在の見通しを聞く。

町長

子育てを町政のまん中にという基本姿勢に基づき、来年度から公立保育園で主食を含む完全給食の実施を予定する。

実施には、調理設備の改修工事など一定の準備期間を要することから、今年の秋ごろに実施する。



公立保育園での完全給食を実施

その他の質問

中谷

復興住宅で気掛かりなのは家賃である。国民年金受給者でも安心して暮らせるように求める。

まち整備課長

県が入居後3年間、家賃を無償化策で負担が軽減される。

その後も被災者の生活状況を踏まえて県と連携し、検討する。

中谷

補聴器購入費助成制度の創設を。

健康福祉課長

独自の助成制度の導入は考えていない。

中谷

末吉地内ホームセンター前道路のり面の雑木等、伐採を求めよ。

まち整備課長

県に対し、のり面の雑木伐採や除草の実施を要望する。



こずえ 梢 まさみ 正美 議員

ここにしかない未来をみんなで創る志賀町へ。町民主体の復興と共創の環境づくりを。

議員の
ひとこと

若者や女性の力は 地域を支える原動力になる 魅力ある地域を創出

町長

梢

町総合計画に「若者や女性
がここで自分らしくいたいと思える環境づくり」と示されている。

若者や女性の力はこれから
の地域を支える大きな原動力
になると考えるが、町が想定
する姿を聞く。

次年度、どのような視点や
優先順位で具体化していくの
か、今後の方向性を示せ。

町長

若者や女性が働く場として
魅力ある地域を創出すると
もに、結婚・出産・子育ての
希望が叶う生活環境の整備な
ど、安心して生活できる地域
づくりを進める。

総務課内に「志賀みらい戦
略室」を新設し、町長直轄の
司令塔として、総合計画に基
づく部署横断の重要事業を推
進する。



動画はコチラから

里帰りを通じた 関係人口の維持・創出を

宿泊・交流機能の充実を図る

まち整備課長

梢

仮設住宅入居者から、遠方
親族が宿泊できないとの声が
寄せられている。里帰りは関
係人口創出の基盤であり、こ
れを支える視点が必要と考え
る。

建設予定の復興公営住宅
は、親族の一時的な滞在を想
定した制度設計や運用を検討
する意向はあるのか。

町内宿泊施設を活用し、里
帰りを通じた関係人口の維
持・創出を支える仕組みを検
討する意向はあるのか。

まち整備課長

復興公営住宅は、公営住宅
法に基づき、住宅困窮者に提
供する賃貸住宅であり、入居
者以外による一時滞在の利用
は想定していない。

町内の宿泊施設の活用は、
町を訪れるすべての方が等し
く利用できる施設として、そ
の利便性を高めていくことが
重要である。

町全体の宿泊・交流機能の
充実を図ることで、誰もが本
町で時間を共にできる環境づ
くり努める。

その他の質問

梢

富来地域での一連の大規
模投資を通じて、本町が実
現しようとしている地域の
将来像・ゴールは何か。

町長

持続可能な地域運営モデ
ルを構築するため、教育・
防災・生涯学習・健康増進
といった機能を組み合わせ、
限られた経営資源で最
大の効果を生み出すまちづ
くりを進める。

道の駅周辺の再整備によ
り、交流人口や関係人口を
呼び込み、地域の稼ぐ力を
高める。

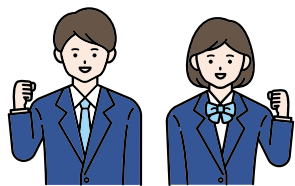


建設が待たれる復興公営住宅(写真はイメージです)

聞かせてください！

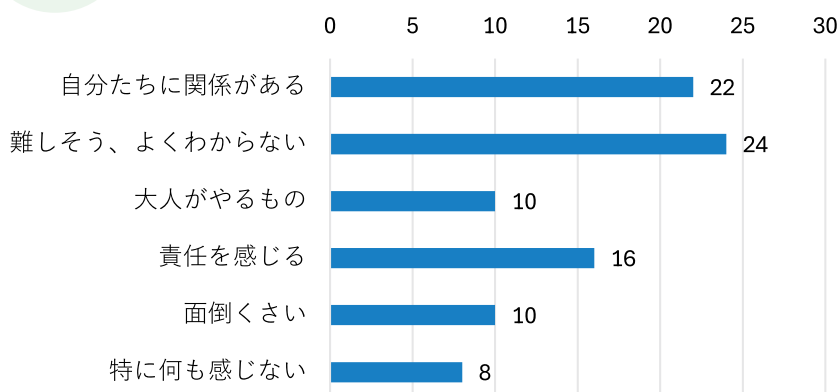
あなたの

声



～ 志賀高校生編 ～

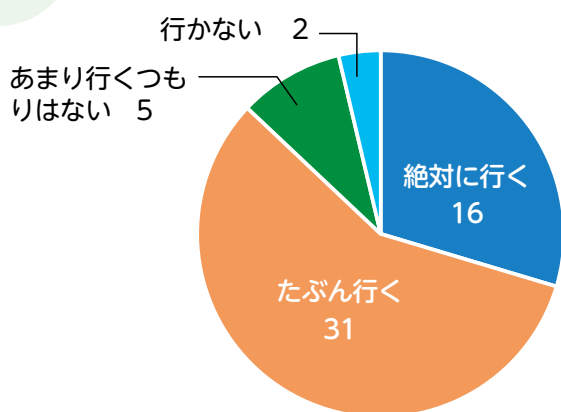
Q1. 「選挙」に対して、どんなイメージを持っていますか？（複数回答）



【その他の意見】

- 選挙に参加できる年齢になっても、政党などきちんと自分で探し出して投票できるのかが不安。
- 日本の未来を決めることができる。

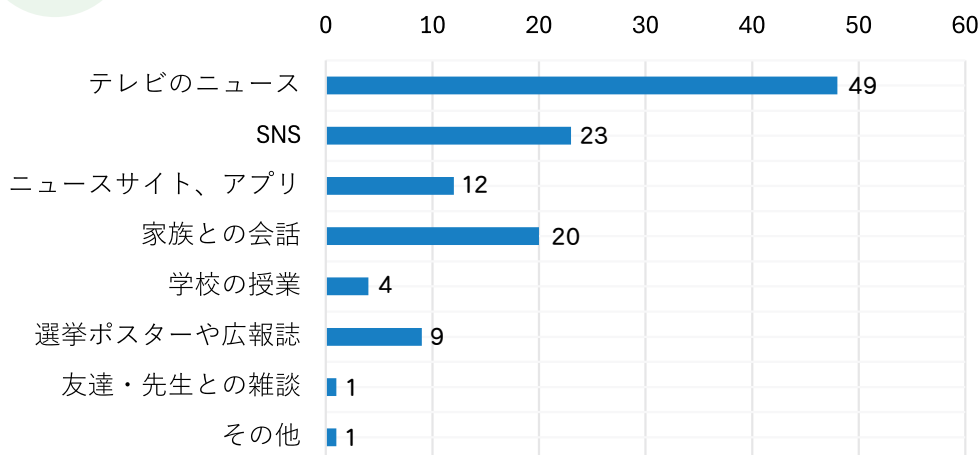
Q2. 18歳になったら、選挙に行こうと思いますか？ その理由も教えてください。



【回答の理由】

- 国民の権利義務だと思うから 24
- 自分の意見を政治に反映させたいから 10
- 誰に投票していいか、わからない 7
- 一票で何かが変わるとは思えない 3
- 手続きやら、投票所に行くのが面倒 6
- なんとなく 4

Q3. 選挙や政治の情報はどこで知ることが多いですか？（複数回答）



志賀高校の活動をぜひご覧ください。
活動の様子は下のQRコードから↓



志賀高校
ホームページ



@SHIKAHIGH SCHOOL
公式Instagram

「ぎかいのひろば」では、これまでたくさんの
町民の皆さんの声を紹介してきました。

今回は、志賀高校生のお届けします！

高校生の思いや感じたことを、ぜひ読んで
みてください。

今回のテーマ：**選挙**

Q4. どうすれば、「選挙に行こう!」という気持ちになりますか？（自由記述）

【その他の意見】

- 学生向けの選挙・投票のイロハを教える講習会があれば嬉しい。
- 国民の意見の反映がどのようにされているかわからないから、しても意味ないと思っている。
- 選挙に出ている人たちが、どんな目的、どんな社会を目指して出ているのかを詳しく、分かりやすく知ることができたら行こうという気持ちになります。

- 直接選挙に行くんじゃなく、ネットで自宅でもできるようにしたら良いやんって思う。
- 選挙割の実施、特典がもらえる、ポイントがもらえる、税金が軽減される。
- もっと選挙を身近なものに感じられるようにすればいいと思います。
- 選挙で自分たちの生活が変わることを伝える。

※今回は志賀高校生54人にご意見をいただきました。
ご協力ありがとうございました。

議員活動報告

志賀原子力発電所の状況を確認 原子力発電所対策特別委員会



令和8年2月27日、原子力発電所対策特別委員会が開催されました。

委員会では北陸電力株式会社から、「志賀原子力発電所の状況」「新規制基準適合性に係る審査会合の状況」について説明を受けました。



議員の視点

北陸電力には、いかなる政策においても「安全性の確保」を最優先に、事業の進捗に全力で傾注して頂き、併せて、エネルギーの安定供給と脱炭素化を同時に達成するため、丁寧でスピード感ある対応をしてもらいたい。



永年在職議員表彰

議会表彰条例に基づき、議員として**10年以上**在職した**中谷松助議員**が表彰されました。

※平成27年5月1日初当選(通算3期目)

「あっという間の10年でした。今後も町の発展、福祉の向上の一助となれるよう頑張ります。」

—委員会傍聴について—

町議会では、開催される委員会を試行的に公開します。

傍聴をご希望の方は、委員会開催の60分前までに議会事務局までお越しください。

※傍聴は6名までとし、希望者多数の場合は抽選となります。

今回は、志賀町に移住された

百満 山城 肇さん 良子さん ご夫妻



にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町のこころ しかまち LIFE

志賀町に住んで何年になりますか。また移住したきっかけを教えてください。

こちらに移住して、8年になります。
50歳を過ぎた頃から、定年後の生活を考えるようになりました。
家庭菜園をしたいという希望もあり、田舎暮らしをしてみたいという話をしていた時、大阪で開催されていた「田舎暮らしフェア」でここを紹介されました。
さまざまな地域が紹介されましたが、石川県能登には何度か遊びに来たことがあり、その豊かな自然に触れる中で、一番良いと感じました。

志賀町での生活はいかがですか。

畑を借りて、野菜づくりをしています。
こちらの人は人情が厚いというのでしょうか、想像していたような地域とのギャップを感じることもなく、閉鎖的な雰囲気もありません。
野菜の作り方を教えてくれたり、魚をわけてくれたり、自然と親しく接してくれています。

肇さんは民生委員もされているとのことですが。

前任の委員さんが引越すことになり、私が声をかけられました。現在はロイヤルシティの30軒ほどを担当しています。
散歩が趣味で、以前から運動がてらによく歩いており、みなさんに挨拶するように心がけていました。民生委員

になってからは、以前よりもさらにいろいろな話をしていただけるようになったと感じています。

町や議会に望むことはありますか。

子どもの声が聞こえる賑やかな町、また教育環境をよくして、子育てしやすいまちになってほしいと思います。



肇さんは木工教室や野菜づくり、良子さんは手芸教室でパッチワークを行うなど、「忙しい田舎暮らしです。」と笑顔でお話をしてくれました。



編集後記

希望に満ちた春、ご卒業・ご入学された皆様、誠におめでとうございます。新たな門出を心よりお祝い申し上げます。
新年度予算も無事決定し、復興に向けて加速するよう、これからも全力で取り組んでまいります。(表谷 茂浩)

議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

6月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

6/2 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
6/9 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
6/16 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

【お詫びと訂正】 本書印刷物に誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

(誤)6月定例会議本会議 6/2(火) 14:00 → **(正)6月定例会議本会議 6/2(火) 10:00**